家さがし川柳 作品発表

9月30日号にて募集しました「家さがし川柳」にたくさんのご応募を頂きました。ありがとうございます。

最優秀賞

「欲しい家　買える家とは　別物だ」（札幌市南区　西山様）

優秀賞

「戸建てから　雪捨て不要の　マンションへ」（札幌市中央区　大島様）

「子ら巣立ち　夫婦二人に　広い家」（札幌市東区　藤林様）

「先立つ物　たくさんあれば　すぐ決める」（苫小牧市　近藤様）

一カ月かけて終わらせよう

じっくり手掛ける大掃除

大掃除が気になり始める12月は、仕事や友人とのお付き合いで外出することも増える時期。忙しいからと年末になってから大掃除を一気に片付けるのも良いのですが、毎日少しずつ奇麗にしていくことで、負担を減らすこともできます。12月いっぱい時間をかけて大掃除を終わらせるスケジュールを組んでみませんか？

大掃除のスケジュールを組んでから行動開始

少しずつ掃除を始める場合でも、目に付いた所からやみくもに始めるのではなく、全体的なスケジュールを決めておいた方が効率よく進めることができるでしょう。「一番初めにやっておきたいこと」「いつでも時間の空いた時に」人でできること」「いつでもできるけれど人手が必要なこと」といったように、思いつくことを項目別にリストアップし、スケジュールを決めていきます。

例えば物置や庭の片付けがまだの人は、根雪がついて本格的な冬が訪れる前に外回りを済ませましょう。天気が良く、家族がいる人手の多い日を選んで、その作業を優先させることが大切。それらの作業がすでに済んでいる人は、気温が高い日の昼間に窓を拭くのもいいかもしれません。ただし外の作業は体を冷やしてしまうので、無理のない範囲で済ませて春以降に持ち越してもいいでしょう。

室内は、あちこちの拭き掃除などをいきなり始めるのではなく、まずは最初の一週間で整理整頓を済ませます。捨てるものと翌年に持ち越すもの、リサイクルに回すものなど、収納の中をスッキリさせることで、その後の作業が楽になるでしょう。

年末の準備に関わる場所は、早めに整理整頓を

年末はおせち料理を準備したり、年明けの来客に向けて食料の買い出しをするなど、台所は早い時点で忙しくなります。冷蔵庫の中には、ほとんど使わない調味料や保存食、賞味期限の過ぎたものが意外とそのままになっている場合が多いもの。これらを一掃し、また食料保管庫にあるものも同時に賞味期限などをチェックして、不要なものは捨てましょう。冷蔵庫や保管庫の中がスッキリしたところで、酢や重曹を溶かした水に浸した布でキレイに拭きます。食材を入れる場所を拭き掃除する時は、口に入っても大丈夫なものを洗剤として使用したいものですね。

これらを終わらせてから、キッチンの換気扇や風呂・トイレなどの水回り、各部屋の床や壁・天井、玄関などを掃除しましょう。いつでもできることと、天気のいい日に済ませた方が楽なこと、これらを見分けるのも効率よく大掃除を済ませるポイントです。

大掃除を通して、日常的に掃除をしやすい環境づくりを

大掃除の時は、日々の掃除がしやすい環境をつくるチャンスでもあります。例えば細々としたものが出しっ放しになっている場所はホコリがたまりやすいので、日々の掃除が面倒です。細々としたものはフタのある収納に入れるだけで、見た目がスッキリして掃除も楽になります。また、物を紛失する心配もなくなりますね。

収納の中を整理整頓する際には、「買ったけれどほとんど使っていないもの」を意識してチェックし、次回は買わないようにすることで、部屋の中に不要なものを増やすこともなくなるでしょう。

自分の物の買い方・収納の仕方などを大掃除の際に意識し、捨てる・まとめる・買わないということを行うようにするだけで、その後の日々の掃除や整理整頓は楽になりそうですね。